

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 非常用自家発電設備及び給水設備整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,633 千円 (前年度予算額： 30,310 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	30,310	30,310	0	0	0	0	0	0	0
要求額	22,633	22,633	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

災害により長期の停電又は断水が発生しても医療設備の診療機能を維持するために必要な電気及び水を確保できるよう、非常用自家発電設備及び給水設備の整備強化等に対して補助を行う。

(2) 事業内容

非常用自家発電設備及び給水設備整備事業費補助金 22,633千円

補 助 先：西美濃厚生病院

事 業 費：68,585千円

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金（医療提供体制施設整備交付金）の活用
補助率：国0.33

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	22,633	非常用自家発電設備及び給水設備整備事業費補助金
合計	22,633	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地域防災計画
第2章 災害予防
第20節 医療救護体制の整備

(2) 国・他県の状況

災害による長期の停電や断水に対する医療設備の診療機能の維持のために必要な非常用自家発電設備及び給水設備の整備を目的として創設された国庫補助金。

(3) 後年度の財政負担

県の財政負担はなし。

(4) 事業主体及びその妥当性

災害時における医療体制の確保のため、長期の停電等に対応できる非常用自家発電設備等の整備は必要不可欠であり、国庫補助金を活用して県が設備整備を助成することは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

浸水想定区域に所在する医療機関等に対して、非常用自家発電設備及び給水設備整備に対して助成することにより、災害時における医療機関の診療機能の維持を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価)	災害時における医療体制の確保のため、長期の停電等に対応できる非常用自家発電設備等の整備を行うものであり、事業の必要性が高いと言える。
3	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 必要な設備の整備後は、災害時の患者受け入れ体制の維持のための訓練等を行っていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も必要な設備整備が必要な医療機関に対しては、引き続き支援していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など		